

## 6.【第48回大会(愛媛県明浜町)の事務報告】

大会事務局長 中道仁美

第48回大会を2000年11月7日より10日の4日間にわたり、愛媛県明浜町で開催しました。第47回大会が都内、東洋大学で開催されたので、2年ぶりの地方開催でした。平日

の開催となり、全日程の出席が難しくなったとはいえ、大会参加者は正会員 71 名、学生会員 9 名、非会員 1 名、地元出席者 12 名、の合計 93 名で、盛況でした。改めて、お礼申し上げます。

今回の大会は、愛媛大学農学部の中川聰七郎会員を代表に、法文学部の中村則弘会員、高橋基泰会員と農学部の中道が協力して、2 年近い時間をかけて地元の選択、協力依頼等、検討して行ったものでした。地元の明浜町では、産業課の横山博文さん、企画調整課の宇都宮松夫さんが中心となって、役場の全面的協力体制を作り上げてくださいました。影の協力者は、一昨年の中道研究室の研究生で、この前まで明浜町の担当であった、現御荘地域農業改良普及センターの西川昌美さんでした。

大会を終えて、事務局と役場の担当者合同で事後の検討会を開催しました。今大会では、いくつか、新しく試みたことがあります。参加費・宿泊費の事前振込については、会計業務の軽減はもちろん、とりわけキャンセルによる事務局負担がなくなりました。今回、直前、その場のキャンセル等は総額で 123,200 円になりました。ぎりぎりの予算で運営していましたし、振込期限を開催約 3 週間前までにしていましたので、理事会にご相談のうえ、一切、返却しないことにしました。

大会の案内に電子メールを優先し、手紙と併用することで、事務局の負担が大きく減りました。また、ホームページを開設しましたので、問い合わせ等にも活用できました。今回は利用者はありませんでしたが、若い研究者支援の意味を込めて、保育支援について配慮しました。

地元で開催する良さをなるべく出したいと、食事、飲み物等にも地元産を利用するように配慮しましたが、そのことで、役場の方々にはお世話になりました。ただ、宿泊施設の違いにより、ご不満のあったこと、申し訳なく思っています。特に、一部施設が狭く、不便ありましたこと、お詫び申し上げます。手伝いの学生も、事前研修不足のため、十分な説明等ができなかったことを反省しておりました。役場職員の皆さんからは、いろいろ研修する機会であったと良い評価をいただきました。

今後の課題は多々、出されました。特に、報告者のコピーについて、増し刷りは大変なので、報告者の責任で必要部数を確保することを徹底して欲しいとのことでした。

最後になりましたが、今大会の収入は、大会参加費、宿泊費、食費等が 2,227,700 円、その他に、愛媛大学から学長裁量費 620,260 円、明浜町商工会から 10,000 円、東宇和農業協同組合から 20,000 円、総額 2,877,960 円でした。支出は、懇親会の飲み物を役場から寄贈いただいたこと、マイクロバス代等についても役場に負担いただきましたので、2,319,113 円で済みました。当初、大学他から一切の支援がないものとして予算計上しましたので、結局、558,847 円が残りました。なお、詳細については理事会に報告しました。振込手数料を除き、全額を学会会計に振り込ませていただきます。